

アサガオ苗の育成方法

* 令和元年5月20日頃に播種し、苗を育成します。

- 1) アサガオの種子(品種:スカーレットオハラ、15粒)を播種する前日に、一晩、水につけておきます。
- 2) 一晩水につけた種子(15粒)を、土を入れた植木鉢などに、まんべんなく播きます。播いた種子の上に、軽く1cm程度土をかぶせます。なお、この時、あまり土をかぶせすぎたり、押しすぎたりすると、芽が出てこないことがありますので注意してください。その後、ジョウロで水をたっぷりと与えます。
- 3) 播種した植木鉢などは、陽のよく当たる暖かい場所に置き、土が乾かないように、適宜水を与えて管理します。1週間ほどすると、種子が発芽し、双葉が出てきます。
- 4) 双葉が完全に展開したら、できるだけ根を切らないように、1個体ずつ丁寧に抜き取ります。そして、それぞれを1個体ずつ、小さな植木鉢などに植え替えます。この状態で、調査地に植え付けるまで、苗を育成します。育成期間中は、陽のよく当たる暖かい場所に置き、水と肥料(化成肥料など)を適宜与えます。
- 5) 育成した苗のうち5株を、令和元年6月24日(月)までに調査地に植え付けます。ちなみに、この頃までには、苗は、本葉が数枚出ている程度に成長します。

注)ここで示したアサガオの育成方法は、あくまでも一例ですので、必ずしも1)~5)のように行う必要はありません。少なくとも、指定日までに、調査地に5株が植えつけられれば、どのような育成方法でも構いません。